

## 昨年度の総会報告

平成十七年度の総会は、八月七日(日)午後五時より、一宮スポーツ文化センターで行われました。

二十回生三十三名を中心として、卒業したばかりの初々しい三十九回生が二十一名参加し、総勢九十三名の方々に参加していただきました。また、ご多忙にもかかわらず、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

総会では、平成十六年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成十七年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただきますように、同窓会報郵送料カンパでは多くの方にご協力いただき、重ねてお礼申し上げます。

懇親会は、学年同窓会を担当した二十回生や毎年誘い合わせて参加していただいている十回生に新会員の三十九回生が加わり、いっになく若々しい雰囲気の中で盛り上がりました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年度から、学年同窓会の担当学年を一回生と二十一回生の二学年とし、同窓会総会をより活性化

しようと計画しております。また、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いですと考えております。

皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

## 東京支部同窓会の報告

三十八回生 大津 英紀

昨年の十一月十九日(土)に、一宮西高校東京支部同窓会が行われました。学校からは、内田先生、吉田先生、入野先生に来ていただきました。卒業生も含めて総勢十三名と、例年の同窓会と比べると参加人数は少なかつたのですが、皆さんとお話することができ、また、吉田先生の小学生になる息子さんの特別参加もあつたので、大変にぎやかな同窓会でした。

今回、私は最年少で、初参加ということもあり、緊張していたのですが、どの先輩方も親しみやすく、楽しく過ごすことができました。先輩方は、学生時代や社会での経験を生き生きと話してください、私にとつてとても興味深い話ばかりでした。その一方で、私の話を熱心に聞いて色々とおアドバイスをくださり、とても居心地が良く感じることができました。今年、私が幹事をさせていたのですが、昨年の有意義な同窓会を振り返った今、俄然やる気が

が出てきました。西高を卒業した後、同窓会を通して先輩方や先生方と繋がりを持つことは、西高の素晴らしさであり、西高を卒業した私たちの強みだと思えます。また、こういった大切な機会はいずれも一人でも多くの方に参加していただき、この大切さを伝えていきたいと、今回の東京支部同窓会に参加して一層強く思うようになりました。

最後になりましたが、今年の東京支部同窓会も、皆さんの心に残るような貴重なものとなるよう一杯努力し、西高に少しでも貢献できればいいと思っております。是非ご参加いただきますようお願いいたします。



## ご転任の先生からのメッセージ

近藤 喜美代

私は、平成十四年四月に一宮西高校に赴任しました。今振り返ってみますと、あつという間に過ぎた四年間でした。私は、西高が大好きでした。こんな気持ちで四年間を過ごすことができたのも、ひとえに、同窓会の皆さん、PTAの皆さん、職員の皆さん、そして、生徒の皆さんのお蔭と感謝しています。

期待と不安を胸に、初めて西高に足を踏み入れたとき、明るく挨拶してくれる生徒たちがいました。また、グラウンドや体育館からは、部活動に励む元気な声が聞こえてきました。そんな生徒たちの様子を見て、私は、なんて学園らしい学園なんだろうと思えました。私の第一印象は、なぜか学園という言葉がびつたりでした。私が最初に感じた印象は、四年間変わることはありませんでした。

そういう点において、私は幸せな日々を過ごさせていただきました。話をきちんと聞いてくれる姿に感動しながら進める国語の授業は、どのクラスに行っても楽しいものでした。いろいろなことに顔を出すのが好きな私は、西高祭のにぎやかさも球技大会の喧騒も大好きでした。また、たくさんの卒業生が来校し、合格餞がどんどん増えていくのを見ることも楽しみ

でした。一月二日の昼、どこか照れくさそうな様子で、合格みかんを取りに来る三年生の姿を見るのも、受験を控えた三年生には叱られそうですが、大好きでした。

土曜日に行っても、日曜日に行っても、年末年始に行っても、西高はいつでも開いていました。そんな学校を、私たちは、コンビニ状態だと言っていたものです。これは、学習に部活動に熱心に取り組む生徒の皆さんはもちろんのこと、それを支える熱意にあふれた先生方がたくさんいらつしやるということです。先生方の熱心な姿勢には、いつも頭が下がったものでした。

西高は、側面から支援してくださる同窓会の皆さんを始め、生徒たちを温かく見守ってくださる保護者の皆さん、熱心に指導してくださる先生方、環境に配慮してくださる事務の皆さん、朝早くから学校を開けてくださる用務員さん、そして、そういう人たちに感謝して、様々な面において努力する生徒の皆さんの運命共同体です。どこが欠けてもだめです。

これからも西高が、人と人とのつながりを大切にしたい、厳しい中にも温かみのある雰囲気になった学校であることを心から願っています。

丹羽高校に赴任してから、尾張地区の総体予選を応援に行つたとき、西高の皆さんの試合がある、思わず応援していました。学校は変わりましたが、私は、いつまでも西高の応援団です。社会で活躍される多くの同窓の皆さんの